

6年後に達成する目標
(健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標)

収縮期血圧および拡張期血圧の平均値を1mmHg低下させる(直近の平均値から低下させる) 2022収縮期:男性127.01mmHg 女性120.91mmHg 2022拡張期:男性79.63mmHg 女性73.23mmHg

健康課題の抽出

● 情報系システムの定型レポート、Zスコア、支部別スコアリングレポート等の医療・健診データから支部の特徴や健康課題を確認し、戦略的保険者機能強化アクションプラン、事業計画、特定健康診査等実施計画のほか、都道府県健康増進計画や都道府県医療費適正化計画等との調和を図りつつ、対策を進めるべき健康課題を抽出する。

	背景、不適切な生活習慣	生活習慣病予備群	生活習慣病	重症化、要介護状態、死亡																																																																														
現 状	<p>○静岡支部概要(2025.8月時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用事業所数 70,491事業所 加入者総数 1,003,904人 標準報酬月額 312,137円(全国平均312,480円) <p>★不適切な生活習慣</p> <p>○喫煙・喫煙習慣ありの割合は男女共に協会全国平均より低いが、2020年度における静岡県のデータでみると、男性39.7%(県平均32.4%)女性13.0%(県平均8.6%)と協会加入者の喫煙率は高く、年代別では40歳から64歳までが特に高い傾向にある。</p> <p>○運動【2021年度→2022年度()は2022年度協会全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1時間以上の歩行又は身体活動なしの割合 男性60.1%→58.9%(58.7%)女性64.8%→63.7%(61.7%) 同性同年齢より歩行「速くない」者の割合 男性56.1%→56.2%(54.5%)女性59.2%→59.3%(58.4%) →特に身体活動量が減っている <p>○特定健診問診票(2022年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動についての質問で3問NGの割合が男性34.0%女性41.1%と協会全国平均より若干高いがZスコアがやや高い。 その中でも1時間以上の歩行/身体活動なしの割合:男性58.9%女性63.7% →協会全国平均並みだがZスコアがやや高い。 上記2点を職業の従事者で比較すると「製造業」「運送業」と不規則勤務、場合によっては夜勤を伴う勤務が業態差のZスコアも高い傾向があり、また車での移動による運動量の低下も示唆される。 <p>○塩分摂取量(静岡県)(平成28年県民健康基礎調査)</p> <p>国の目標 男性8g未満→現状10.6g 女性7g未満→現状9.2g →目標より2g以上多い</p> <p>○カリウム摂取量(静岡県)(平成28年県民健康基礎調査)</p> <p>国の目標 男女とも3000mg以上→現状男性2,431mg 女性2,240mg →目標と大きく乖離している</p> <p>○野菜摂取量(静岡県)</p> <p>国の目標男女とも350g→現状男性274g(全国36位)女性243g(全国41位) →目標と大きく乖離している</p>	<p>○2022年度のHbA1cの年齢調整平均値が、男女共に上昇傾向にあり、平均値に比べ高い数値である。</p> <p>男性5.84%(全国5.72%)女性5.66%(全国5.58%) また、男性のHbA1c≧6.5%の割合も11.0%(全国9.5%)と割合が高い。</p> <p>○メタボリックシンドローム予備群割合 2020年度</p> <p>協会全体と比較すると低いが、県と比較すると特に男性の割合が高い。</p> <p>40歳~44歳 男性17.3%(県16.6%) 女性3.9%(県3.7%) 45歳~49歳 男性18.1%(県17.5%) 女性5.0%(県4.7%) 50歳~54歳 男性18.3%(県17.8%) 女性6.0%(県5.5%) 55歳~59歳 男性17.6%(県16.8%) 女性5.4%(県5.4%)</p> <p>○高血圧症予備群割合 2020年度</p> <p>全体で見ると低いが40歳~59歳で見ると協会けんぽの割合が高くなり、特に40代の割合に県と差がある。</p> <p>40~44歳 男性12.7%(県11.9%) 女性6.5%(5.9%) 45~49歳 男性13.4%(県12.8%) 女性8.3%(7.9%) 50~54歳 男性13.6%(県12.9%) 女性10.0%(9.6%) 55~59歳 男性12.9%(県12.5%) 女性10.5%(10.3%)</p> <p>○収縮期血圧130mmHg以上の者の割合 (2014年度~2022年度)</p> <p>協会全体と比較すると低い割合だが、特に2021年度~2022年度が増加傾向である。</p> <p>2014 男性36.4% 女性23.6% 2015 男性35.5% 女性22.8% 2021 男性36.3% 女性23.9% 2022 男性39.0% 女性26.6%</p> <p>○拡張期血圧85mmHg以上の者の割合 (2014年度~2022年度)</p> <p>協会全体と比較すると低い割合だが、特に2021年度~2022年度の男性が増加傾向である。</p> <p>2014 男性26.2% 女性12.6% 2015 男性25.5% 女性12.1% 2021 男性27.7% 女性13.8% 2022 男性31.4% 女性15.6%</p>	<p>○メタボリックシンドローム割合 2022年度</p> <p>協会全体と比較すると低いが、県と比較すると特に男性の割合が高い。</p> <p>40歳~44歳 男性13.4%(県12.5%) 女性2.2%(県2.2%) 45歳~49歳 男性19.2%(県18.0%) 女性3.2%(県3.3%) 50歳~54歳 男性23.5%(県22.9%) 女性5.2%(県5.3%) 55歳~59歳 男性26.6%(県26.0%) 女性6.7%(県7.0%)</p> <p>○高血圧症有病者割合</p> <p>全体で見ると低いが40歳~59歳で見ると協会けんぽの割合が高くなり、特に男性の割合に県と差がある。</p> <p>40~44歳 男性17.6%(県16.2%) 女性8.0%(7.2%) 45~49歳 男性27.1%(県25.1%) 女性13.8%(12.8%) 50~54歳 男性36.8%(県34.6%) 女性21.9%(20.3%) 55~59歳 男性46.4%(県43.7%) 女性28.2%(26.6%)</p> <p>○2022年度医療費(静岡支部)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高血圧性疾患 93億3千万円 糖尿病 79億1千万円 <p>・医療費の総額が最も高いのが高血圧、次に糖尿病である。これらは、脳卒中等の脳血管疾病や心血管疾患の発症の大きな要因となるため、生活習慣の改善や適切な治療につなげるような施策が必要である。</p> <p>・循環器系の一人当たり医療費の差が、外来に比べ入院は大きくなっており、急激に症状が悪化して入院していると考えられる。</p> <p>循環器系の疾患 入院 3,418円 入院外 681円</p> <p>・代謝系の医療費も増加しており、腎不全も全国に比べて高くなっている。</p> <p>内分泌、栄養及び代謝疾患 入院 328円 入院外 3,341円</p> <p>○内服割合が減少傾向にある。【2021年度→2022年度()は2022年度協会全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 高血圧者のうち服薬中 男性49.8%→48.0%(48.1%)女性50.0%→47.7%(47.9%) 糖尿病者のうち服薬中 男性57.7%→58.2%(58.6%)女性62.5%→62.6%(61.5%) <p>○既往歴(心血管)ありの割合が増加している。</p> <p>男性 2014年度3.0%(全国3.4%)→2022年度3.8%(全国3.5%) 女性 2014年度1.3%(全国1.6%)→2022年度1.7%(全国1.6%)</p>	<p>○介護認定率 2021年度 県と国の比較 ()は国</p> <table border="1"> <tr> <td>要支援1</td> <td>1.9%</td> <td>(2.6%)</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>2.2%</td> <td>(2.7%)</td> </tr> <tr> <td>要介護1</td> <td>4.1%</td> <td>(3.8%)</td> </tr> <tr> <td>要介護2</td> <td>2.9%</td> <td>(3.3%)</td> </tr> <tr> <td>要介護3</td> <td>2.4%</td> <td>(2.5%)</td> </tr> <tr> <td>要介護4</td> <td>2.1%</td> <td>(2.3%)</td> </tr> <tr> <td>要介護5</td> <td>1.2%</td> <td>(1.7%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17.0%</td> <td>(19.1%)</td> </tr> </table> <p>○死因 静岡県人口動態統計 2021年</p> <ul style="list-style-type: none"> 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎が主な死因疾患となっており中でも悪性新生物による死亡者数は全体の4分の1を占めており、増加し続けている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>県</th> <th>2020年</th> <th>2021年</th> <th>2022年</th> <th>国</th> <th>2020年</th> <th>2021年</th> <th>2022年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体死亡率</td> <td>11.9</td> <td>→</td> <td>12.3</td> <td>→</td> <td>11.1</td> <td>→</td> <td>11.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>悪性新生物</td> <td>309.5</td> <td>→</td> <td>310.7</td> <td>→</td> <td>316.1</td> <td>→</td> <td>310.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>心疾患</td> <td>165.9</td> <td>→</td> <td>173.1</td> <td>→</td> <td>166.6</td> <td>→</td> <td>174.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>103.9</td> <td>→</td> <td>102.6</td> <td>→</td> <td>83.5</td> <td>→</td> <td>85.2</td> <td>→ 88.1</td> </tr> <tr> <td>腎不全</td> <td>23.1</td> <td>→</td> <td>24.6</td> <td>→</td> <td>21.8</td> <td>→</td> <td>23.4</td> <td>→ 25.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・大きく乖離しているのは、脳血管疾患である。腎不全も国より高い。</p> <p>・また、静岡県の健康課題として脳血管疾患の減少を掲げており、全国を基準とした標準化死亡比では死因が脳血管疾患の割合が全国より多くなっている(113.3)。</p> <p>○平均寿命 2016年→2019年</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性81.21歳(全国81.25歳)→81.41歳(全国81.41歳) 女性87.32歳(全国87.32歳)→87.24歳(全国87.45歳) <p>全国平均と大差ない状態である。(厚生労働省統計情報部『都道府県別』)</p> <p>○健康寿命</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性73.45歳(全国72.68) 全国5位、女性76.58(全国75.38) 全国5位と例年静岡県は上位に入っている。 <p>(厚生労働省公表資料(2021年12月公表))</p>	要支援1	1.9%	(2.6%)	要支援2	2.2%	(2.7%)	要介護1	4.1%	(3.8%)	要介護2	2.9%	(3.3%)	要介護3	2.4%	(2.5%)	要介護4	2.1%	(2.3%)	要介護5	1.2%	(1.7%)	計	17.0%	(19.1%)		県	2020年	2021年	2022年	国	2020年	2021年	2022年	全体死亡率	11.9	→	12.3	→	11.1	→	11.7		悪性新生物	309.5	→	310.7	→	316.1	→	310.7		心疾患	165.9	→	173.1	→	166.6	→	174.9		脳血管疾患	103.9	→	102.6	→	83.5	→	85.2	→ 88.1	腎不全	23.1	→	24.6	→	21.8	→	23.4	→ 25.2
	要支援1	1.9%	(2.6%)																																																																															
要支援2	2.2%	(2.7%)																																																																																
要介護1	4.1%	(3.8%)																																																																																
要介護2	2.9%	(3.3%)																																																																																
要介護3	2.4%	(2.5%)																																																																																
要介護4	2.1%	(2.3%)																																																																																
要介護5	1.2%	(1.7%)																																																																																
計	17.0%	(19.1%)																																																																																
	県	2020年	2021年	2022年	国	2020年	2021年	2022年																																																																										
全体死亡率	11.9	→	12.3	→	11.1	→	11.7																																																																											
悪性新生物	309.5	→	310.7	→	316.1	→	310.7																																																																											
心疾患	165.9	→	173.1	→	166.6	→	174.9																																																																											
脳血管疾患	103.9	→	102.6	→	83.5	→	85.2	→ 88.1																																																																										
腎不全	23.1	→	24.6	→	21.8	→	23.4	→ 25.2																																																																										
健 康 課 題	<p>喫煙、運動不足、塩分摂取など、協会加入者は働き年代(40~60代)が多いからか、該当者割合が高い。特にこれらの状況は血圧等に影響を及ぼしやすい。</p>	<p>↓</p> <p>メタボ予備群や高血圧症予備群など、生活習慣病一歩手前の該当者が多い。</p>	<p>↓</p> <p>メタボや高血圧者の該当も高いが、特に高血圧該当者の半数が治療されていないことも問題である。</p>	<p>↓</p> <p>心疾患 脳血管疾患</p> <p>悪性 新生物</p>																																																																														



対策を進めるべき重大な疾患(10年以上経過後に達するゴール)

協会: 既往歴「心血管」ありの者の割合を男性3.8%(2022)→3.5%(2022協会平均) 女性1.7%(2022)→1.6%(2022協会平均) まで下げる
県: 人口10万人当たりの脳卒中による年齢調整死亡率を下げる(男性2021年37.1 → 31.7以下 女性2021年20.4 → 16.7以下)
(協会では死亡率のデータがないため、協会の目標を上記とした)